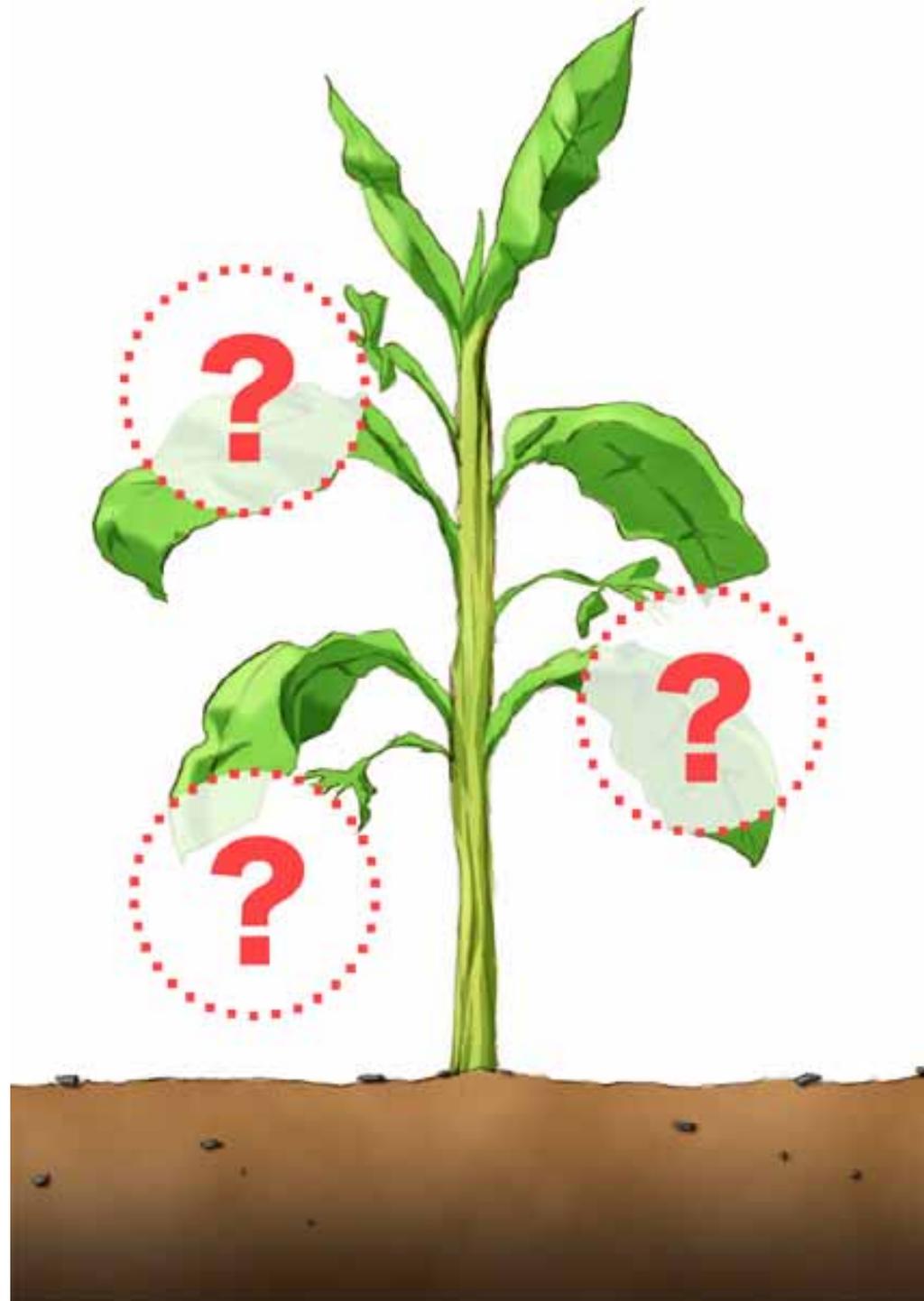


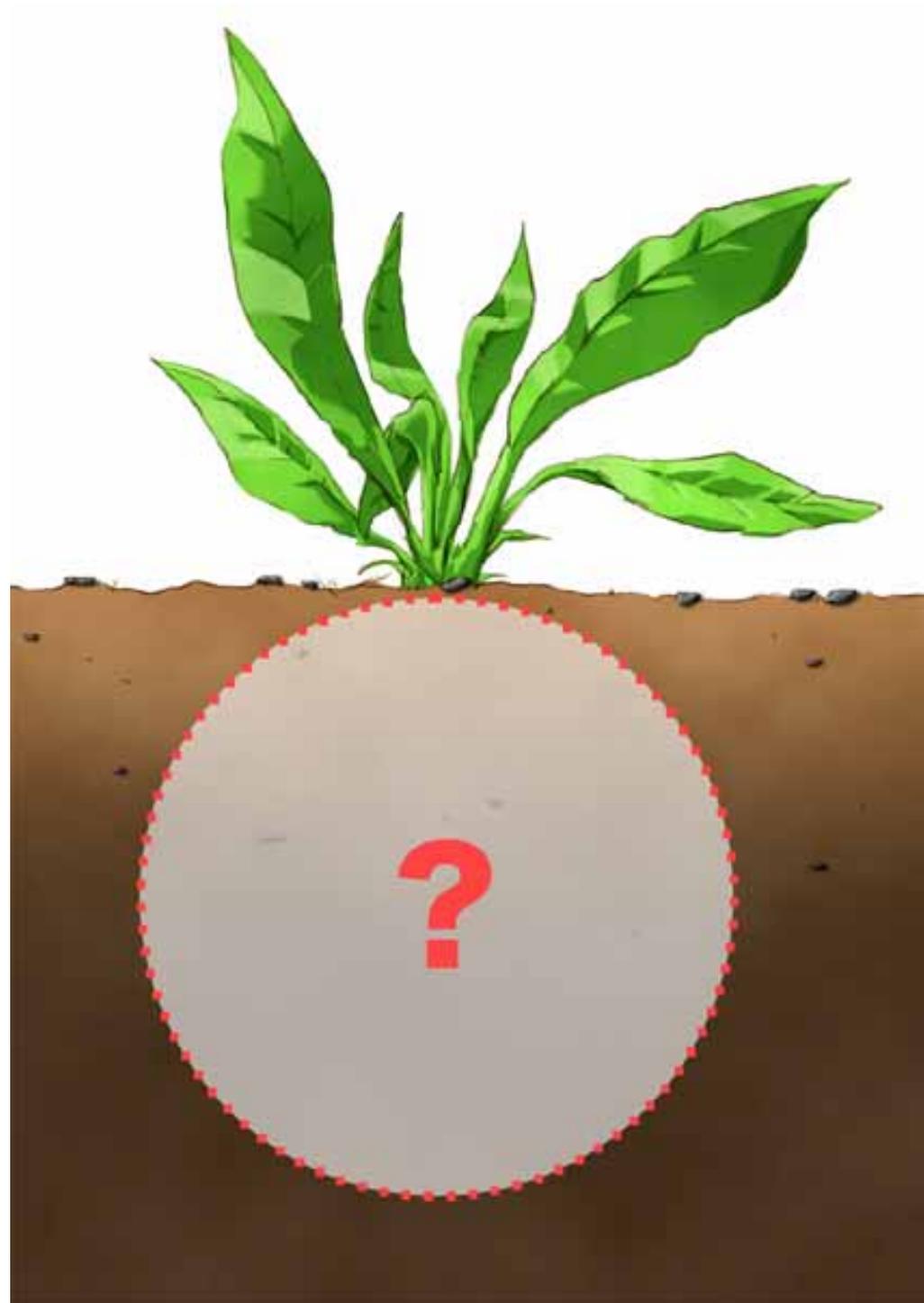
D: どんなふう to 育っているの？

概 要	野菜がどのように育っているのかを、三択(土の上になっているのか、下なのかなど)で答えさせるその後、可能であれば、近隣の畑などで野菜や果物の成長の姿を確認する
目 的	普段食べている野菜・果物がどのように生長しているかを知らない子どもは意外に多い。生育の状況を想像することで、野菜や果物への関心をより高め、植物の育ちに興味をもつ
教 科	総合的な学習の時間
実 施 場 所	教室(校庭、近所の畑など)
実 施 時 間	約15分
実施方法 例)	<p>【準備】 育ち方カード3種をA3サイズなどに拡大してプリントアウトします。プログラムA『野菜・果物 名前あてクイズ』で使用した野菜・果物写真から、切っていない野菜だけを抜き出して用意。</p> <p>【実施方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 黒板に、3枚の育ち方カード(土の上になっている野菜、土の中に埋まっている野菜、茎などからぶらさがっている野菜)を貼る 育ち方カードのイラストは、育つ場所をイメージしたものです。イラスト通りに生育しているということではありません。 2) 野菜・果物写真を見せて生長の仕方を聞きながら、分け方の見本を見せる 「この野菜はどうやってなっているのかな？ 茎などからぶら下がっているのかな？ 土から上にはえているのかな？ それとも 土の中に埋まっているのかな？」 「1番だと思ふ人、2番だと思ふ人、3番だと思ふ人」と一つずつ聞きながら、黒板に人数を書いていく。なお時間があれば、野菜・果物写真に入っていない野菜についても「参考資料:どんなふう to 育っているの？」を参考にしながらたずねてみてください。 3) 答えが分かれたら、実際に見たことがある人を確認しながら情報を共有化し、解答を示す。 これを繰り返す 4) 最も正解数が多かった児童をチャンピオンとする 5) まとめ 「野菜はさまざまな育ち方をしていますね。私たちは、体にとっても大切な野菜や果物の根や葉や、茎、実を食べています。大事に残さず食べるようにしましょう」という形でまとめる <p>大根など、根も葉も食べているということに気づく子どもが出てきた場合はどちらも正解。また果物は全て木や草になる実なのでここでは省きましたが、野菜とともに入れ込んで答えを出させ、最後に果物の共通点を考えさせてもよい。</p> <p>ゲーム形式をとらない場合 3枚の育ち方カードに、野菜がどのようになっているのか自由に想像して描かせる 各自に描かせてもよいし、班ごとで3種類を完成させてもよい 時期的な問題はあるが、近所の畑などを訪ね、実際にどのようになっているか観察させて自分で描かせてもよい</p>
ツ ー ル	画像データ(育ち方カード3種/A『野菜・果物名前あてクイズ』で使用の野菜・果物写真のうち野菜写真のみ)
備 考	枝豆などが茎にぶら下がっている実物を見せたりすると、興味をもたせることができる (他学年が野菜などを育てているなら、それを観察させたり、近所の畑に行つて観察するのも一つの方法)

(1)



(2)



(3)

